

地域と共に歩む大学へ



昨年行われた大学創立50周年記念式典を終えての感想、8学部11学科体制について、そして大学と同窓会の今とこれからについて。木船学長、小川同窓会会長、脇田同窓会副会長が語り合いました。

盛況に終わった 50周年記念式典

昨年大学は創立50周年を迎え、記念式典なども行われました。振り返ってご感想を伺えますでしょうか。

木船学長(以下学長) 50周年ということですが、いろんな方から寄付金をはじめ多大なご支援を頂き、同窓会の皆様にも大変ご協力いただきました。大学50年史の発行、新校舎「希館」の建設も行うことが出来ました。皆様に改めてお礼申し上げます。

私は50年史の編集作業にも携わったのですが、原稿を何度も読みながら50年という歴史の中にはいいことも大変なこともあったことを知り、これからさらにいろいろなことがあるのだろうなと身の引き締まる思いです。

単学部単学科からスタートし、現在8学部11学科。今年の入学者は1500人となりました。先人達に感謝し、新たな50年のために私たちは覚悟を持って頑張らなくてはと思っております。

記念式典が10月25日に行われ、盛会でした。**学長** はい。約580名の方にお集りいただき、和やか且つ華やかな式典になりました。藤原正彦お茶の水女子大学名誉教授による記念講演会が、大変好評でした。本学卒業生の青木さやかさんに作詞を依頼したカレッシンングのお披露目も行われ、会場を盛り上げてくれました。

小川同窓会会長(以下小川) 私もお招き頂き、大変感慨深い気持ちになりました。素晴らしい式典だったと思います。

同窓会も3年後に50周年を迎えますね。

小川 はい。今年、準備委員会を立ち上げました。脇田副会長に委員長になっていたとき、



同窓会 副会長
脇田 芳徳



名古屋学院大学 学長
木船 久雄



同窓会 会長
小川 博司

50周年に向けて準備していきます。前回の45周年が大変盛り上がりましたので、それ以上のものを目指したいと思っております。

今年から8学部11学科体制になりました。その意義と展望をお聞かせください。

学長 新しい学部学科の設立は、大学は人材育成の機関ですので、社会の要請に応えるという考えからです。今回新設したのは、「現代社会学部」と「国際文化学部」「スポーツ健康学部」の中の「こどもスポーツ教育学科」の3つ。現代社会学部は社会学を中心に法律学、心理学などを含め学際的に様々な現代の問題を扱う学部です。本学には外国語学部がありますが、新しい国際文化学部はもっと広い間口でグローバルな人材養成を目指します。こどもスポーツ教育学科は幼稚園と小学校の教員養成を目的としており、これは本学50年の歴史の